

つくろう 伸ばそう 鹿沼の文化

かぬま文化

No.176

発行人 鹿沼市文化協会
発行責任者 会長 鈴木 貢
編集委員会 委員長 黒川 榮三
印刷所 晃南印刷(株)

第45回鹿沼市民文化祭開幕式報告― 鹿沼市民文化協会第13回文化セミナー 「幡 大介 講演会」

穏やかな天候に恵まれた
9月23日(土)、かぬまケーブ
ルテレビホール(鹿沼市民
文化センター)の小ホール
入り口にて、アコースティ
ックギターとサクソフォン
による爽やかなテンポの音楽
でご来場の方をお迎えし、
第45回鹿沼市民文化祭の開
幕式を開催しました。

開闭幕式は多くの来賓の皆
様にご出席いただき厳かに
行われました。
佐藤信鹿沼市長、鈴木貢
鹿沼市民文化祭実行委員長
の主催者あいさつに続き、
来賓を代表して松井正一県
議会議員、片柳伸一商工会
議所会頭にご祝辞をいただ
きました。



佐藤信鹿沼市長

開幕式後のアト
ラクション「幡大
介講演会」は、歴史
ファンの方がたく
さん心待ちにして
おりました。
幡大介氏は、鹿
沼市生まれで、N
HKBSで今年6
月から放送された
「大富豪同心」の原



片柳伸一商工会議所会頭



松井正一県議会議員



幡大介講演会

作者です。美大を出てか
ら小説家になるまでの経
歴に続き、代表作「大富豪
同心」のエピソードや鹿
沼も登場する「幕末愚連
隊」について、さらに関東
地方の戦国時代まで、豊
富な歴史の知識を生かし
て楽しく語っていただき
ました。質問コーナーで
は会場からの熱心な質問
を受けるなど、大いに盛り
上った催しとなりました。

今年は、広いスペース
を利用した大ホールホワ
イエにて、茶道部会の方々
による呈茶席を設けまし
た。ご来場された皆様は、
生演奏を聴きながらお茶
を飲み、ほっと和んでい
らっしゃいました。関係
者の皆様のご尽力により、
たくさんの方にご来場を
いただき、心より感謝い
たします。

事務局 福田由子



ウエルカムコンサート



サイン会



文化祭開幕式式典

第45回鹿沼市民文化祭 開幕式報告	1
裏千家阿部宗起教室	2
フラワーデザイン部会	2
フラワーデザイン部会	3
お知らせ	3
華道 草月流	3
令和5年度 視察研修旅行報告	4
編集後記	4

中央公園まつり茶会

裏千家阿部宗起教室 阿部 宗起



掬翠園「観瀾居」にて

緑豊かな日本庭園と情緒ある建物の掬翠園「観瀾居」にて6月11日に中央公園まつり茶会が行われ、茶席を担当いたしました。天候を心配しておりましたが、良い日に恵まれて幸いでした。

席主になるのはしばらくぶりですが、どうしたら皆さんに楽しんでいただけるかと考えながら準備をしました。6月なのでさわやかなお

お点前やお運びをする弟子たちも緊張気味で、席主の私もお客様に粗相のないようにと気を張り詰めました。

茶杓は「長谷川大真」作の銘「清流」を、そして「六瓢筆蒔絵」の大甕を用意し今日お

のちにギリシャでは宗教的意味が生まれ



鹿沼市民文化祭 出展作品
小太刀昌子

刻などに装飾された花のモチーフを探してみ

会を立ち上げて26年

「フラワーデザイン」はそもそも和製英語です。いまでも馴染み

リース、ガーランド(花網)等が作られた記録

1960年前半にメ

こうして日本のな

フラワーデザイン今昔

フラワーデザイン部会副会長 小太刀昌子

越しいただいたお客様がいつまでも健康でと願って使用しました。

とお帰りの際は笑顔で声をかけていただき、とても幸せな気分になりました。会の皆さん

さて、日本においては1950年後半、アメリカから日本に渡

デザインを考へ極めたりと、花を楽しむことができ

フラワーデザイン展

フラワーデザイン部会会計 軽部 弥生

第45回鹿沼市民文化祭
フラワーデザイン展を終
え、今年も活気のある素
晴らしい展示会であつた
と実感しております。私
がこの文化祭に参加した
のは、今から25年前のこ
とで参加者のほとんどが
花屋さん達でした。作風
も大きな花を使用したデ



鹿沼市民文化祭 出展作品
軽部弥生

ザインでとても華やかな
ものでした。現在は、フ
ラワーデザインを習って
いる人達が、大きなも
のから繊細なデザインと
様々な作品を並べるよう
になりました。

一般的にフラワーデザ
インの印象は自由なイ
メージがあると思います
が、実はとても厳格
な法則があり、それ
を踏まえた上でデザ
インし、花を選び制
作しているのです。
アメリカンスタイ
ルの球体や三角形な
どの幾何学形態は、
花の面を使つたき

お知らせ

第6回いちごいちえ鹿沼川柳大会

●第1部大会

(日時) 令和6年2月12日(月・振替休日)午前9時30分受付

●第2部全国誌上大会

(課題) 「星」二句詠

(投句受付期間) 令和6年1月20日(土)(消印有効)

(投句先) 〒322-0069

栃木県鹿沼市坂田山2丁目170番地

鹿沼市文化協会「いちごいちえ鹿沼川柳大会」係

◆問い合わせ先

「かぬま川柳会」

松本とまと

☎0289-62-5700

FAX0289-62-5797

ちつとしたデザインで、
セレモニーなどに使用さ
れます。現在、ヨーロッパ
アンスタイルは、花のラ
インを生かしたデザイン
で表現されています。動
きのある軽やかで繊細な
デザインです。身近な植
物を観察し、どう生かし
ていくか考えていくのも

楽しいものです。
フラワーデザインの楽
しいところは色々な部門
がある点です。アレンジ
メント・ブーケ・花束・
コサージュ・プチアレン
ジメントコラーージュなど
です。花材も生花・ドラ
イフラワー・プリザーブ
ドフラワーなど新しいも

のが開発され長く楽しめ
ます。
鹿沼は文化の高い街で
あると市外の方によく
われます。年に一度のフ
ラワーデザイン展に向け
て年々技術の向上を目指
し、若い人の育成に努め
ていきたいと思ってお
ります。

華道展はパワースポット

華道 草月流 白井 琳幸

「ん〜いい香り〜」目
を閉じて深呼吸する。
令和5年10月21日、22
日と文化活動交流館に
て開催された文化祭華
道展での出来事。当日
の朝、前日に活け込ん
だ作品の手入れをする
ため、会場の扉を開け
ると整列した作品たち
が出迎えてくれる。夜
のあいだ締め切りだつ
た空間の中、草木・花
が空気を浄化し澄んで
会場いっぱい心地良い
香りが広がっているの
です。

の三つの物質が脳内に
分泌されます。幸せホ
ルモンはストレスの和ぎ
や幸福感、モチベーショ
ンが上がるなどの効果
があり科学的根拠もあ
るからです。

多くの皆様が持つ華
道のイメージとして、「着
物を着て活ける」「正座」
「作法が厳しい」等々、
敷居が高く堅苦しいと
思われている様ですが、
テレビドラマの影響で
しょうか。「いいえっ」
まったくそんな事はあ
りません。汚れても良い
格好で、足がしびれるこ
ともありません。花材
と向き合い無心になれ
る楽しい場です。

草木や花を眺めてい
ると『幸せホルモン』と
呼ばれるドーパミン・オ
キシトシン・セロトニン

華道は300以上の
流派があります。普段
は特徴・知識・技術も
異なる各流派ごとの展
示会・お稽古・研究等
で活動し自身の成長を
重ねています。しかし文

化祭華道展は異なる流
派が集合し会場を作り
上げます。個性ある作
品が一度に鑑賞できる貴
重な場です。



文化祭華道展 出展作品 白井琳幸



鹿沼市民文化祭 華道展



鹿沼市民文化祭 フラワーデザイン展

令和5年度視察研修旅行報告 洪沢栄一史料館・ 漱石山房記念館を訪ねて

視察研修推進委員 寺崎 昌子



視察研修旅行(令和5年9月8日)



洪沢栄一史料館



夏目漱石の書齋



漱石山房記念館



「コロナ禍」で、2年続けて断念していた「視察研修」でしたが、制限が緩和され、3年ぶりに実施でき、28名が参加しました。しかし喜びも束の間、当日は、台風13号の影響による悪天候の中での出発となりました。

バスは、車窓を激しい雨が打ちつける中、走行。高速道に入った所で、鈴木会長の挨拶があり、日程も「安全第一」を考慮して「築地場外市場の見学」を取りやめにいたしました。

最初に訪れた「洪沢栄一史料館」は、飛鳥山公園内に建てられた近代的建築の造りで、ステンドグラスやタイルを使用した美しい建物でした。入館前に全員揃って写真撮影を済ませた後、館内を見学しました。アール型の窓から見える中庭の美しい樹木に心癒され、充実した展示資料からは、近代日本経済社会の礎を築いた功績が、より輝きを増し、心に刻まれました。近々、新二万円紙幣の肖像と成る姿に、より親しみを感ぜられます。

次は、とっても楽しみにしていましたが皇居外苑内「楠公レストハウス」の和食膳です。見た目にも豪華な「与の重」に、お味噌汁も付き、お腹も大満足！更に、使用した菊の紋章が入った「箸」をおみやげに頂き、これも嬉しい思い出のひとつとなりました。

次に訪れる「漱石山房記念館」は、都心のド真ん中の新宿区にあり、運良く雨も小降りになり猛暑の心配もなく目的の地まで歩いて行くことができました。漱石公園内に建つ

いる記念館は都心とは思えないくらい緑豊かな広い敷地の中に在り、館内も充実した資料の収集、保管が整備され、往年の漱石の華麗な生涯を伺い知る体験ができました。

今回の旅を振り返り、

編集後記

ことのほか残暑の厳しい日々が続いていますが、秋を告げる風情も見えて来しました。

9月23日、第45回市民文化祭開幕式が開催されました。ロビーには、新規参加の歴史を含め文化祭PR用の作品が展示されていました。茶道部会の方々による呈茶席が設けられ、日頃味わうことのない雅な落ち着いた雰囲気になることができました。そして秋の陽を招き入れるような軽やかな演奏を楽しみ、いよいよ本日の開幕式会場へ。アトラクションは、幡大介氏の講演です。活躍中の時代小説家である、幡大介氏の講演であり、多くの人が着席していました。

幡大介氏の登壇に大きな拍手が湧きました。鹿沼市に生まれ、武蔵野美術大学出身とのことでした。美

風下の中での視察研修は、より思い出深く記憶に残るでしょう。これもひとえに、この視察研修に携わっていたいただいた方々のお陰で安心して楽しむことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました！！

術系から時代小説家になられたことに驚きました。言葉の隅々からも、そのお姿からも素朴なお人柄が表われる心の和む講演でした。

終了後には、サイン会と書籍の販売会が開かれ賑わっていました。幡大介氏のますますのご活躍をお祈りします。

文化祭は、会員の智恵と工夫を結集し、日頃の成果を発表する場です。日頃の努力によって文化の花が開きました。この根を大事に育てて行きたいと願うばかりです。

会員の皆様のご支援とご協力を頂き、ここに176号を発行できました。感謝を申し上げます。

(編集委員 小林 夏江)

《編集委員会》

黒川 榮三 板橋 和子
寺崎 昌子 小林 夏江
斎藤千恵子 大貫 宗正